

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.49)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う環境変化への対応として、未発表としていた2022年10月1日～10月29日の台北・ソウル路線、および、2022年10月30日～2023年1月31日の路線便数計画(*)を決定しました。

JALグループは、引き続き空港や機内の清掃・除菌を徹底し、安全・安心な空の旅を提供してまいります。

(*) 計画を調整中の路線および対象期間が異なる路線が一部あります。

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

- ✓ 北米路線では羽田=シカゴ線を増便し毎日運航とします。また、関西=ロサンゼルス線を増便します。
- ✓ 東南アジア路線では成田=ジャカルタ線を増便し毎日2便運航とするほか、羽田=デリー線を増便し毎日運航とします。

<路線便数計画について>

■ 2022年10月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の期間を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
60	60	4,826	2,560	53%

■ 2022年11月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
42	42	3,180	1,755	55%

■ 2022年12月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
37	37	2,852	1,556	55%

■ 2023年1月の路線便数計画(*)

*本日までに未発表の路線・期間を除く

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
37	37	2,764	1,474	53%

※上記減便率は2020年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

<方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報については JAL Web サイト
(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>) をご参照ください。